

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	20,102,000株	2025年3月期	20,102,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	527,174株	2025年3月期	527,174株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	19,574,826株	2025年3月期3Q	19,574,827株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の通商政策の影響や地政学リスクに伴う原材料価格の高止まり等が物価高をもたらす中、消費者の購買力は低下し、金融資本市場の変動等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が事業を展開するスポーツ用品業界においては、少子化の影響や気候変動による季節性の変化、物流コストの上昇など不確実な要因が多くあり、経営環境は不透明な状況が続いております。一方で健康志向の高まりやスポーツへの関心・ライフスタイルの多様化により、ランニング・アウトドアなど幅広い分野において安定した購買意欲が維持されており、また、スポーツブランドの日常使いとしての需要も拡大していることから、スポーツ用品市場は今後も成長が期待されています。

このような状況のなか当社グループは、新中期経営スローガンとして「一致結束をより強固にし、スポーツ総合商社として、周りの信頼と信用を高めながら、会社も個人もより高みを目指していく」を掲げ、基本方針として「長期的に利益を稼ぎ続ける仕組みと風土づくり」、「売上拡大のための成長戦略」、「経営効率化のための構造改革」、「経営基盤（人材・物流・DX）の強化」、「ESG経営の推進」を定め、グループ各社一丸となって取り組み、企業価値向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続きスポーツ市場及びライフスタイル市場において、提案型営業による取引先との関係強化や主力ブランドの取扱い拡大などに取り組みました。また適正な在庫流動管理をより徹底するとともに物流の効率化にも取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、42,615百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は718百万円（前年同期比11.9%増）、経常利益は889百万円（前年同期比9.6%増）となりました。なお、投資有価証券売却益の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は536百万円（前年同期比79.1%減）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

（卸売部門）

スポーツ市場においては、健康志向の高まりや観戦型・参加型イベントの多様化を背景に各カテゴリーとも高い需要が維持されました。野球・ソフトボール用品「ゼットベースボール」では、グラブ、バットに加えアパレル関連も堅調に推移いたしました。サッカー用品では、アパレル、フットウェアを中心に引き続き好調に推移し、その他用品においては陸上スパイク、ランニングシューズのほか、卓球などがインバウンド需要の影響もあり好調でした。ライフスタイル市場においては、高機能シューズが引き続き好調だったほか、アウトドア用品におけるアパレル関連も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は41,396百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

（製造部門）

野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」においては新基準硬式金属製バット、ホワイトスパイクが引き続き高評価を得ており、オーダーグラブはプロスタッフの活躍などにより好調に推移しました。バスケットボール用品の「コンパス」においては、レフリースーツなどが引き続き好調でした。一方で、製造部門の経営環境は、原材料価格の高騰や対米ドル円安状態が継続したことによって、製造原価は高止まりしており厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は246百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

（小売部門）

専門性の高い品揃えと接客の質の改善に取り組みましたが、一部店舗の統廃合や序盤の暖冬の影響により高価格帯商品の販売がやや停滞しました。

この結果、売上高は390百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

（物流部門）

倉庫作業料収入が伸び、外部受託業務の取扱数量も引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は581百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が25,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ645百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,145百万円増加したものの、売掛金が2,099百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が355百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は32,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は15,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,043百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が1,536百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1,599百万円、未払法人税等が1,104百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が175百万円、繰延税金負債が161百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は17,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ721百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は14,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が183百万円、その他有価証券評価差額金が165百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては2025年11月13日の「2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078	10,224
受取手形	405	306
売掛金	9,979	7,880
電子記録債権	1,875	2,412
商品及び製品	4,052	4,123
仕掛品	108	104
原材料及び貯蔵品	260	182
返品資産	319	339
その他	406	254
貸倒引当金	△139	△125
流動資産合計	26,348	25,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,481	2,512
減価償却累計額	△1,920	△1,939
建物及び構築物 (純額)	561	572
土地	1,228	1,228
その他	984	947
減価償却累計額	△689	△694
その他 (純額)	295	252
有形固定資産合計	2,084	2,053
無形固定資産		
その他	75	59
無形固定資産合計	75	59
投資その他の資産		
投資有価証券	3,622	3,978
長期貸付金	11	10
敷金	269	245
その他	389	433
貸倒引当金	△42	△77
投資その他の資産合計	4,250	4,590
固定資産合計	6,410	6,704
資産合計	32,759	32,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,346	5,747
電子記録債務	6,387	7,924
短期借入金	47	101
未払法人税等	1,181	76
未払消費税等	81	98
賞与引当金	235	279
返金負債	376	399
その他	974	962
流動負債合計	16,631	15,587
固定負債		
長期借入金	—	175
繰延税金負債	78	239
退職給付に係る負債	314	317
長期未払金	11	11
その他	1,169	1,151
固定負債合計	1,573	1,896
負債合計	18,205	17,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	9,620	9,804
自己株式	△74	△74
株主資本合計	13,519	13,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	940	1,105
繰延ヘッジ損益	29	55
為替換算調整勘定	52	47
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	1,033	1,218
純資産合計	14,553	14,922
負債純資産合計	32,759	32,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	39,960	42,615
売上原価	33,146	35,298
売上総利益	6,814	7,317
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	379	419
運賃及び荷造費	704	786
賃借料	185	185
役員報酬及び給料手当	2,327	2,420
貸倒引当金繰入額	△61	21
賞与引当金繰入額	279	262
減価償却費	91	100
その他	2,265	2,402
販売費及び一般管理費合計	6,172	6,599
営業利益	641	718
営業外収益		
受取利息	1	30
受取配当金	68	40
受取賃貸料	65	65
貸倒引当金戻入額	16	0
業務受託料	3	3
その他	15	32
営業外収益合計	170	172
営業外費用		
支払利息	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	811	889
特別利益		
投資有価証券売却益	2,952	—
特別利益合計	2,952	—
税金等調整前四半期純利益	3,763	889
法人税、住民税及び事業税	1,207	273
法人税等調整額	△12	79
法人税等合計	1,194	353
四半期純利益	2,568	536
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,568	536

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,568	536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,596	165
繰延ヘッジ損益	44	25
為替換算調整勘定	3	△5
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	△1,548	184
四半期包括利益	1,020	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,020	721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	95百万円	105百万円